



試験用定盤 東芝エレベータ株式会社上野原事業所様（山梨県上野原市）

定盤積載荷重 : 約30ton

定盤サイズ : 7,500×9,400mmー1面（2,500×9,400mmー3枚構成）

定盤平面度 : JIS2級相当/枚 ※定盤間段差0.1mm以下

レベル調整方式 : ねじ式ジャッキ

施工方法 : ねじ式ジャッキ脚部分を接着式アンカーにて固定。定盤設置後にピットとの納まりを縞鋼板にて施工。

社内仮組検証～据付工事の様子



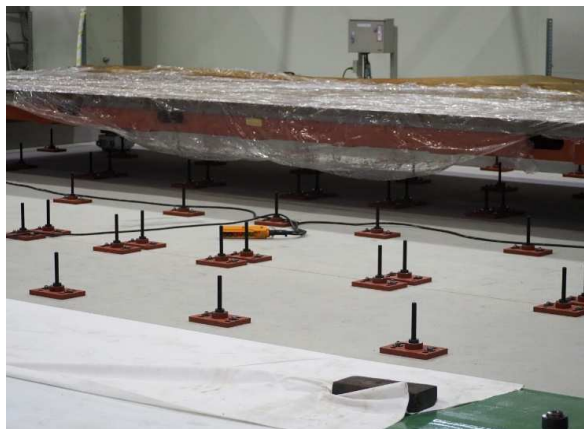
①製品組検証

機械加工が終わって、検査を終えた定盤を実際に仮組し、設置後の精度の検証を行います。



②搬入作業

定盤下にチルローラーを入れてコロ引き搬入を行います。重量物搬入に慣れた職人により安全かつスピーディーに定盤の搬入作業が行われます。



③設置作業

事前に検討された綿密な作業計画と段取りにより、ピット上でも確実に定盤を移動させて、指定の位置にピタリと設置します。



④調整作業

専用に設計されたオリジナルの工具も使用しミクロン単位（1/1000mm）で平面度調整を行います。



⑤設置作業

平面度調整の完了した定盤を高精度デジタル水準器にて測定し、その場で平面度記録の出力を行います。



⑥部品取付け作業

定盤上面にジャッキ穴用の蓋や定盤周辺の縞鋼板の取り付け作業を行い、清掃を終えた後に全作業が終了となります。